



# エミールだより

第490号

2016年8月1日 発行

## 8月

エミール保育園  
園長 江口 浩三郎

### 「子どもに仮面をかぶらせない」

けやきの木と蝉はよほど相性がいいのでしょうか。朝早くから、やかましい程の大合唱です。虫とり網をかざす子どもたちも真剣で、目ざとく見つけてはうまく捕りこんでいます。子どもならではの世界ですが、見ているだけでもワクワクさせられますね。

花火大会やキャンプも、無事終わることができました。多くの保護者の方のご協力があったからこそと、心より感謝しています。夏本番に向けて、子どもといっしょに楽しみを見つけていきましょう。

ところで、よく子どもは「天心らんまん」と言われ、いつも自分の素顔をさらけ出しているように思われています。しかしながらそれは単純な見方であって、実際は自分の本心を表に出さず、仮面をかぶったような状態になりがちなのです。なぜなら、子どもはまだ完全な自立には程遠く、何をすることも不自由で、その分おとなに依存している状態で、いつもおとなの顔をうかがっているからです。

それでは子どもが仮面をかぶらず、心の素顔を見せてくれるためにはどうしたらいいのでしょうか。

- ① 最も効果的なのは、子どもが自分の意思を尊重され、心も身体も自由な状態にある時です。決しておとなの言いなりになる奴隷状態ではなく、ひとりの人間として認められていてることを意味します。それはどんなに誇らしく満足し、幸福感を味わえることでしょうか。いつでも素顔まる出しの気分であることができます。
- ② 次は、幼少期に次々とめぐってくる「敏感期」に、それを満足させられる環境のなかで過ごすことです。もし満足な環境がなければ、当然順調な成長・発達への条件が欠けているということです。そしてさらに悪いことには、子どもがまわりから、自分の存在を否定されていると感じるということです。そして自分のからの中に閉じ込め、仮面をつけたような状態になってしまいます。
- ③ また幼い頃からいろいろな人間関係の中で過ごし、豊かな社会性を身につけることです。多くの自分とちがった人たちに接し、その中でもまれているうちに、自分というものがどんな人間か理解することができます。自分がどんな人間かわかってさえいれば、仮面をかぶらずとも、素顔で自信を持って他人と交わることができるようになります。

子どもたちがこれから永い人生を生きていく時、仮面をかぶっては何も楽しむことができません。仮面がくっついて取れなくなる前に、取りはずせるような環境に置いてあげましょう  
(園長より)

### 花火大会の御礼

今年の花火大会は、途中で雷雨にみまわれ、イベント等は中止になり残念でしたが、おみこしパレードや5歳児の「エミールわっしょい」、花火の打ち上げは予定通り行うことができました。また、バザーも例年通り大好評で、たくさんの保護者や卒園生などでにぎわうことができました。これも役員さんをはじめたくさんの保護者の皆さまのご協力あってのことと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。父母の会主催ですので、会計報告その他については、後ほど父母の会よりお知らせがあることと思います。

### 8月の行事予定

1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	山の日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	避難消火訓練
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	
9/1	木	8月誕生会

体育教室 (5歳児)  
29(月)  
絵画指導はありません